

■ 経尿道的尿管結石

経尿道的尿管結石砕石術

尿管結石を認めます。この結石を内視鏡(カメラ)を用いて砕石する手術を予定しています。これにより結石がなくなると、疼痛・感染症の改善や予防、腎機能保護が期待できます。

- 麻酔方法:全身麻酔または腰椎麻酔(下半身麻酔)で施行します。手術前日に麻酔科医が貴方の病室へ伺い、麻酔についてご説明します。
- 手術方法:尿道からカメラ(膀胱鏡・尿管鏡)を入れて、直接尿管の中の結石を観察しながらレーザー装置で結石が自然に流れる大きさまで細かく砕きます。つまり、今回の手術は結石にヒビ(割れ目)を作るのが目的で、細かくした結石は術後ご自身で水分補給して頂き、なるべく動くように心がけて頂いて体外へ尿と一緒に流してもらうことになります。結石がその場所に留まっていた期間が長いと結石による刺激で炎症が起こり、尿管が狭くなり内視鏡で結石が確認できないことや、砕石できないことがあり、その際には手術を中止します。手術後の尿管には内視鏡の刺激で一時的に腫れが生じ尿の流れが悪くなります。状態によっては尿の流れを確保するため一時的に尿管ステント(D-Jステント)を留置する場合があります。もしD-Jステントを挿入した場合は挿入した場合は排尿の状態をみながら、尿管カテーテルを抜き去ります。(注:この管は後日必ず抜き去る必要があります。そのまま放置すると結石がついてそのままでは抜けなくなりお腹を開けて取る場合があります。)術後残石の流れが悪い場合は別の方法で追加の治療を必要とすることもあります。
- 合併症:血尿、出血、発熱、感染症、尿管穿孔(尿管に穴があくこと)などが起こる可能性があります。その際には抗生剤投与、輸血、場合により開腹による手術などの適切な処置を行います。合併症が生じた場合には入院期間が延長します。

一覧 膀胱全摘:男性 膀胱全摘:女性 前立腺全摘 腹腔鏡手術 経尿道的膀胱腫瘍切除  
生体腎移植:ドナー 生体腎移植:レシピエント 前立腺小線源療法 開腹腎摘出 開腹後腹膜リンパ節郭清  
シャント造設 経尿道的尿管結石 体外衝撃波結石破砕術 小児 検査